

男子ソフトテニス。真っ黒に日焼けした子ども達には、笑顔がとてもよく似合う。練習には、数えるほどしか見に行けていないが、いつ通りかかっても、よく声が出ている元気な子ども達。今日も元気に声を出して張り切っている▼外は、豪雨だったが、場所は、輪中ドーム。屋根がある全天候型コート。冷房設備はないが、夏でも気温 31℃を超えることはこれまでなかったと聞く。31℃は決して涼しくはないが、普段炎天下で練習している子どもたちにとっては、天候に左右されにくいコートは、抜群の環境▼今日は、団体戦。団体戦は、3 ペアが戦い、2 勝した方が勝ち。1 試合は 5 ゲームマッチ。しかし、そもそも 1 ゲーム何点取ればよいのか分からない。サーブの順番や打つ場所が変わっていくのはなぜなのかもよくわからない▼硬式テニスと同じようなルールだと、後で聞いた話だが、硬式テニスの数え方も謎である。時計説が有力だそうだが？▼団体戦は、オーダーが重要らしい。顧問の智恵と駆け引きの見せどころである。本校の第 1 試合のペアは、もっとも元気で声が出ているペアと聞いた。応援のコールにある「流れ持って来い！」にぴったりのペアだ▼コートの左右、前後 2 人の位置取りは、試合の中の駆け引き。ボレーが決まったり、ストレートを打ち抜いた瞬間は痺れる。抜群のコンビネーションは、これまで共に練習してきた絆だった。